



染竹地区の皆さんで移転した水天さん

染竹の集落より県道三百十三号線を七百米位石神地区の方に行つた所に水源地があり、そこに祀られている水の神がある。その碑には明治三十一年八月八日代一円五十銭と記してある。...

私のふるさと 染竹の水天さん

今年も町も染竹の地に温泉掘削に着工、温泉掘削の成功を水天さんに祈願するところ大いにあり、温泉が出て町の暮しも少しは変わるとすれば水天さんも温泉の神として分神される事でしょう。

子どもにも教育には、父親が強くてもなければならぬと思います。特に、男の子に対して父親の役割が重要になり、子どもが高学年の時期になってもなお、母親に任せきりにしていることは、子どもの自立が大幅におくれます。

一言

子どもにも教育には、父親が強くてもなければならぬと思います。特に、男の子に対して父親の役割が重要になり、子どもが高学年の時期になってもなお、母親に任せきりにしていることは、子どもの自立が大幅におくれます。また、この時期に努力の大切さを教え、目標に向かって集中し、こつこつと努力することの大事さを教え込み、未来に対する希望をもたせ、励まし、力づけながら強い意志を養っていくことが必要です。

津奈木

発行所 津奈木公民館 芦北郡津奈木町 電話(78)311140 印刷所 旭印刷 電話(水俣)64101番



鶴野 達雄 さん

である。その水天さんが昭和二十九年砂防ダムの工事が始まる前までは、こんもりと繁った木立の中に水天さんの碑が建ち、その岩の下から、こんこんと清水が湧き出て子供達の遊びの場にもなっていた。砂防ダムの建設以来、洪水の度にダムに土砂が蓄積し、碑もその土砂に埋れること数回、その度に地元の人達の奉仕により掘り出し高い所、高い所へと移し祀って来たが、それでも大雨の都度、碑は水中深く没し、神の碑が水中にある姿は見るに忍びず、数年前から移転の話はあったが、水神を移すことに抵抗を感じ、水神の崇りを恐れ、なかなか決断がつかずいたが、平成三年春の被災までは是が非でも移し祀ることとして、移転先を探し、今の地の山主鶴野寿さんの御協力を得て、地区民一同の御寄進・御奉仕に依り完成、二月二十五日の大安吉日の日に移し祀る事が出来た。

清和村文楽人形芝居

(津奈木の文化振興に大きなきっかけ)

去る八月十七日(土)、津奈木共同福祉施設にて入館者六百余名を迎えて、清和村文楽人形芝居(阿波の鳴門巡礼歌の段)と地元郷土芸能(舞鶴太鼓・内野豊年踊り・染竹棒踊り)が上演されました。



地元染竹地区棒踊り



六車町長と清和村長



清和村文楽人形芝居

車町長の記念品の交換があり、終演後、ホールで鈴木館長のサイン会も行なわれました。この事業は、文化の振興は地域振興の大きな要素という観点から「環境創造みなまた推進事業」の一環として実施されたものです。



カーテンコール(鈴木館長を囲んで)

町民体育祭 野球・競舟大会

歓衆からさかんな応援

去る8月13日から15日まで、盆恒例の町民体育祭野球大会、競舟大会が開催されました。野球大会は13・14日の2日間総合グラウンドで20地区が参加して開かれ、前年度優勝の上下門より優勝旗の返還があり、浜崎の磯見さんが選手宣誓を行ないました。



大泊港で開催された競舟大会

では川崎議長の始球式後、福浦と小津奈木が対戦、9対0で小津奈木が勝ち進みました。どの試合も前年度以上に活気があり、珍プレー、好プレーが続出、中学生も大人にまじって一生懸命プレーをしていました。14日の決勝戦は平国下と大泊の対戦となり平国下が4対0で優勝を獲りました。



(野球優勝)平国下の皆さん

また、特別参加として、今年度も鹿児島県根占チームと、水俣の湯堂チームを招待して、今年度優勝大泊チームと、日添チームを含めて、四艇で競技、大泊チームの優勝で特別レースを終了、大会に一段と花を添えました。

- 優勝 平国下 二位 大泊 三位 内野・中尾 (競舟大会) 優勝 大泊 二位 日添 三位 平国上 (野球大会)

